紅子のにっぽん

―屏風絵・墨絵・掛軸など―

深沢紅子野の花美術館
2021夏季特別展

深沢紅子は、上京して岡田三郎助のもとで油彩画を学び、
一水会展、女流画家展などに作品を発表するかたわら、
軽井沢をこよなく愛し、1964年から20年ほど
堀辰雄1412番山荘（軽井沢高原文庫に移築）を夏のアトリエとして、
浅間高原に咲く多様な野の花を水彩で数多く描きました。
今回は、これまであまり公開されていなかった深沢紅子の「和」の作品、
屏風絵・墨絵・掛軸など約40点を集め、少女時代より
日本画を学んだ紅子がもとめた独自の清雅な世界をご紹介します。

深沢紅子「てっせん」水彩　掛軸

●文学者との関係●

深沢紅子は戦前からたびたび軽井沢を訪れ、堀辰雄や立原道造ら軽井沢を愛した文人たちと交友を結び、本の装幀なども手がけました。児童文学者で追分に山荘のあった石井桃子もその一人で、石井の『山のトムさん』は紅子が絵を担当しています。

石井桃子・作
深沢紅子・画
『山のトムさん』
1968年7月　福音館書店

● イベント ●

野の花さんぽ 2021

四季折々に塩沢湖畔に咲く花や植物を、専門家が一緒にご案内します。
《開催日》①7月31日（土）　②9月25日（土）　③10月16日（土）
各回13時～15時　　料金：1,500円《要予約》　定員：5名程度
講師：軽井沢サクラソウ会議・自然観察指導員
集合：深沢紅子野の花美術館　ご予約はFAX、電話で受け付けます。
FAX：0267-45-6466　TEL：0267-45-3662

● 感染症により展覧会やイベントを変更または中止する場合がありますのでご了承ください。
お出かけの前にホームページまたは電話でお確かめください。

2021年　6月10日（木）
10月26日（火）

入館料：大人600円　小中学生300円
会期中無休　開館時間：9:00～17:00

上信越自動車道・碓氷軽井沢ICより車で約15分
しなの鉄道「中軽井沢駅」下車、タクシー約7分
JR北陸新幹線・しなの鉄道「軽井沢駅」下車、タクシー約10分または公共バス
＜急行塩沢湖線＞「軽井沢駅北口④番」→「塩沢湖」下車（420円）徒歩5分
＜町内循環バス 東・南廻り線＞「軽井沢駅北口①番」→「塩沢湖」下車（200円）徒歩5分

深沢紅子野の花美術館
Kouko Fukazawa Nonohana Museum
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉217 明治四十四年館
Tel 0267-45-3662　Fax 0267-45-6466
http://www.karuizawataliesin.com